



園だより かけはし

キッドワールドこども園
令和7年6月1日

時折冷たい雨が降りますが、季節の変化を感じます。新年度が始まり2ヶ月、子どもたちが毎日元気に登園してくれることを嬉しく思います。

梅雨の時期は、外遊びが出来ない日も多くなりますが、かたつむりやだんごむしのお世話や観察をしたり、小麦粉粘土遊びなどを取り入れたりして子どもたちが夢中になって遊び込めるように工夫をしていきたいと思います。

また、6月は保育参観があります。園生活に慣れてきた中で、朝の会の様子や友だちと関わっている姿など普段見ることのできない姿を見てもらえる良い機会となっています。



行事予定

日	曜日	園児に関すること
2	月	歯科検診
3	火	身体計測(5歳児)、避難訓練(大津波・大地震)
4	水	身体計測(3歳児、4歳児)
5	木	身体計測(2歳児めろん組)
6	金	身体計測(2歳児ぶどう組)
10	火	身体計測(1歳児さくらんぼA組)
11	水	身体計測(1歳児さくらんぼB組)
13	金	滝っ子にこにこランド(5歳児)
17	火	避難訓練(風水害)
19	木	健康診断、身体計測(0歳児)
21	土	保育参観(3・4・5歳児)
24	火	弁当日
26	木	誕生会
28	土	保育参観(0・1・2歳児)

しんろう歯科医院

今年度より、嘱託歯科医がしんろう歯科医院に変わりました。

歯科検診では、食生活指導、歯磨き指導等その後の保育活動にも反映させていきたいと思っています。

ホールページアドレス

<https://www.shinrou-dc.com/>

※Instagramもあります。



お知らせ・お願い

- ※ 6月2日(月)9時30分～ 歯科検診があります。お休みをされないようにお願いいたします。
- ※ 6月のお弁当日は、24日(火)です。子どもさんが楽しみにしているので、忘れないようにお願いします。
- ※ 6月の保育料の納入期間は、24日(火)・25日(水)・26日(木)の3日間です。
(期限内に納入できない場合は、教頭の奥下までご相談ください。)





保護者支援の一環で行っている「子育て相談」の中で、よく話題に上る問題として「具体的な子どもとの関わりと支援」ということがあります。この中では、躰(しつけ)や遊びの問題をはじめ、意外な行動をする子どもや気になる子どもへの具体的な対応などについて現場で直面している課題について意見を交換しました。

ここで取り上げられた課題についての「具体的な子どもへの対応と支援」として、園で行われている子どもたちの遊びや子育て支援セミナーの中などで行われている楽しいゲームがいろいろ紹介されました。そして、それらの中で、療育の場で行われているタッチケアや感覚統合遊びやなどが特に参加者の興味を引き、話が深まってきました。なかでも特にタッチケアについては、私たちが日頃行っている子どもとの関わりにもよく似ているし、それが子どもたちにも有効であるというので、掘り下げた情報と意見の交換が行われました。そこで、今回は、この場を借りて皆さんにタッチケアのことについて一緒に考えてみたいと思います。

ここで話題に上ったタッチケアというのは、広い意味でいえば「小さな子どもと周りの大人との心と体の触れ合い」ということで、子どもと大人の絆を深めるさまざまな活動です。そのように見てみると、我が国においても、昔から授乳やおんぶ、抱っこや肩車、「すきすき」や「たかいたかい」などのいわゆる体を通したスキンシップの習慣が大切にされてきたという歴史があります。これは、小さな子どもが健全に育っていくためには、親子の肌と肌が直接触れ合うタッチケアが大切であるということを経験的・感覚的に理解していたからだと思います。

ここで紹介するタッチケアというのは、小さな子どもと周りの大人が、見つめ合い、語りかけあいながら子どもにしっかり触れたり、なでたりして体に少し圧をかけながらマッサージのように体を揉みほぐしたり手足を曲げ伸ばしたりします。また、周りの大人が手指を使って子どもの体に触れたり擦ったりして肌に優しい刺激を伝えたりするのです。

子どもたちは、心地よく触れられることにより、脳に神経伝達物質のひとつであるオキシトシンがたくさん分泌されるといわれています。このオキシトシンは、ストレスホルモンの分泌を抑制しストレスを感じる時に分泌される脳内ホルモン濃度を下げてください。また、逆に幸福感を感じ穏やかな気持ちにさせてくれるため、タッチケアを受けた後には子ども達の中に溜まっていたイライラが減少し、気分を落ち着かせてくれるというのです。つまりタッチケアにより、子どもたちは周りの環境によるストレスが減少し情緒が安定するのです。このような中で、穏やかで相手を思いやる気持ちが芽生え、人を信頼して交流することができ、親子の絆も深まっていきます。

加えて、このタッチケアの効果は、受ける子どもたちだけではなく行う周りの大人にも同じような効果があります。

ここで紹介しているタッチケアは、子どもへのマッサージやスキンシップを通して、心と体を触れ合わせ、小さな子どもの成長・発達を促進する働きがあります。したがって、タッチケアを行うことで、子どもたちの情緒が安定し、ストレスが減少することなどができるのです。また、タッチケアは、小さな子どもだけでなく、多くの子どもたちへも同じような効果があるということが確認されています。



このように、皮膚から伝わる優しい感触や心地良いと感じるように触れることより子どもが癒されるとともに、心身の健康維持増進を促しますので、つまづきのある子どもや気になる子どもへの具体的な支援などにも活用され、周りの大人との絆作りにも役立っています。また、その他にもタッチケアは、自律神経のバランスを整え免疫力を高め、心や体の不調を予防してくれる効果があるともいわれています。

昔は当たり前のように行われていた親子のスキンシップも、現代社会の生活の中では極端に希薄になってきています。このような中、ストレスに弱い子やキレやすい子にさせないためにも、乳幼児期のタッチケアが必要であるということを理解して、日常の子どもとの関わりを工夫していくと「子育て」これまで以上に楽しいものになってくると思います。

今回は、タッチケアの概要と意義についての紹介で紙幅が尽きてしまいましたので、もう一步突っ込んだ、「タッチケアと子どもの成長の関わり」や「タッチケアの具体的な方法」については、別の機会に紹介させていただきたいと思います。